

令和2年度学校経営方針

神崎市立脊振小学校

学校教育目標

脊振を愛し 進んで学ぶ たくましい子どもの育成

教師指導力の強化（OJT）

学校組織力の強化（チーム脊振）

学校経営目標

- ①安心して学べる環境を確保し、子ども・保護者・地域から信頼される学校をつくる。
- ②教職員の意識改革と効率的な自己研鑽を推進し、指導力と人間性の向上を図る。
- ③「知・徳・体」の調和のとれた生き抜く力を備えた子どもを育成する。

目指す学校像 『子ども・保護者・地域から信頼される学校』

- 教育愛に基づき、組織的・計画的に目標の実現を目指す学校
- 教職員の意識改革と資質向上に努め、教育効果を追求する学校
- 透明性や信頼性が高く、地域と共にある学校

目指す教師像 『愛情と向上心をもつ教師』

- ◎子ども一人ひとりを理解し、よさを引き出し育てる教職員
- ◎子どもや保護者・地域と共により、連携できる教職員
- ◎使命感と向上心を持ち、専門職として自己研鑽に努める教職員

育てたい子ども像

石の門の教え【校訓】

- | | | |
|---|-------|--------|
| 1 | 心の大きい | 優しい子 |
| 2 | 体の丈夫な | たくましい子 |
| 3 | 意志の強い | やり抜く子 |
| 4 | 郷土を愛し | 学業に励む子 |
| 5 | 品のある | 礼儀正しい子 |

重点指導目標

- (1)基礎・基本の習得、活用、探究的な学習を通して、学びの質的な向上を図り、子どもの学力向上を目指す。
- (2)小中連携、保小連携、家庭・地域社会との連携を充実させ、確かな学力の定着と人間関係力の育成を図る。
- (3)子ども同士の望ましい人間関係づくりを推進し、進んで行動することができる能力を育成する。
- (4)生徒指導に関する問題の未然防止、早期発見・早期対応により、子どもが安全で安心して生活できる環境をつくる。
- (5)子どもの保健・安全や食に関する認識を深め、進んで健康の保持増進に努める態度を育成する。

重点指導項目

確かな学力の育成

- ①小中連携教育研究を推進し、学習習慣の定着を図る。また、実践を通して子どもの学力向上を目指す。
- ②各教科において、主体的・対話的で深い学びの視点を生かした指導方法を追求する。
- ③思考力・判断力・表現力を伸ばし、既習事項を活用して解決しようとする力の育成、充実を目指す。
- ④指導方法の工夫・改善（小規模校の強み、ICT活用等）を図り、楽しい学習の実現を目指す。
- ⑤神埼プラン「学習のきまり」による学習規律の定着を図る。
- ⑥少人数学級の特性を生かし、個の能力を引き出す指導に努める。

豊かな心の育成

- 生徒指導の充実（生活力の向上）**
- ①基本的な生活習慣の定着を図る。
 - ②あいさつ、無言掃除、右側歩行を徹底する。
 - ③きまりを守り、相手の気持ちを考えて行動する子を育成する。
 - ④お互いの人格を尊重する指導を行い、いじめ防止と早期発見に努める。
- 望ましい人間関係づくり（心の教育の充実）**
- ①縦割り活動の充実により、思いやりの心や努力する心を育成する。
 - ②お互いのよさを引き出し、磨き合う学級づくりを推進する。
 - ③道徳教育の充実を図る。
 - ④特別支援教育の充実を図る。
 - ⑤自然体験・奉仕体験等の推進と充実を図る。
 - ⑥五恩を返す心や感謝の心を育てる。

健やかな体の育成

- ①早寝・早起き・朝ご飯の励行と生活リズムの適正化に努める。
- ②一人ひとりの実態に即した目標を持たせ、体を動かすことの楽しさを体感させ、体力・運動能力の向上に努める。
- ③保健学習・指導（ブラッシング指導等）や給食指導を中心とした食育の充実を図り、健康生活のための知識を深め意識を向上させる。
- ④生活事故防止、交通事故防止、不審者への対応（防犯グッズの携帯など）等の安全指導を徹底する。
- ⑤施設設備の充実とその有効活用を図る。
- ⑥校舎内外の環境整備と日常の安全点検に努める。

連携教育の推進

- ①小中連携教育を推進し、共通の指導目標に立ち、協力した授業や活動を実施する。
- ②保育園と連携した活動を実施する。
- ③家庭や地域・社会と連携した教育を推進する。
- 授業参観等、保護者や地域の方が学校に来る機会を計画的に設定し、情報を交換する。
- 教職員が家庭や地域と連携し、基本的な生活習慣・学習習慣の育成や家庭学習習慣の向上を目指す。
- 地域人材の協力を得て、学校教育の深化を図る（人材の活用・発掘と情報）